

**学校名** 熊谷市立玉井小学校  
**所在地** 熊谷市高柳116-1  
**電話** 048-532-3986

## 1 本校の概要

今年度で開校134年目を迎えた。児童数463名、学級数18学級（特別支援学級 知的、自閉・情緒、肢体不自由学級を含む）、教職員数44名の中規模校である。

校長の学校経営方針である、「自立」、「貢献」を基に全校で取り組んでいる伝統の長なわ、JRC活動（青少年赤十字）にも取り組み、心身ともにたくましい児童の育成をしている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 地域との連携
- ・ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

### (2) 実践の概要

年間を通して、本好きの児童を増やすために以下のような取組をしている。

ア 図書委員や図書館ボランティアの読み聞かせ

- ・ 図書委員によるおすすめの本の紹介（年3回）

低・中・高学年に自分がおすすめしたい本を選び、ポスターにして各教室をまわり紹介をした。



- ・ 図書館ボランティアによる読み聞かせ（毎月1回）  
季節に合った本や児童に読んでほしい本、人権に関わる本を学年別に選定し、読み聞かせを実施した。



### イ 地域との連携

「本とのふれあい事業」では、地域の「こづえの会」の方に読み聞かせに来ていただき、季節に関する本や人権に関する本を学年別に読み聞かせをした。



### ウ 新聞記事のワークシートの活用

毎週1回配信される新聞記事のワークシートを使い新聞記事に書かれている内容を読み取る取組をした。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 図書委員によるおすすめの本の紹介を学年別にしたところ、「その本が読みたい」と図書室を訪れ、図書室利用が増えた。

イ 新聞記事のワークシートを使い、毎週1回、全学年で新聞記事を読む取り組みをしたところ、記事の要約ができるようになった。

### (2) 課題

ア 高学年になると図書室利用が減少する傾向にある。休み時間の使い方を工夫して、高学年の児童にも多く利用してもらえるようにしていく。

イ 新聞記事のワークシートでは、新聞記事を読んだことのある児童が多くない。内容の読み取りから4年生以上は要約の仕方まで指導をした。

新聞記事から自分の考えを文章にしていくことが全体の課題である。

### (3) おわりに

来年度に向けて図書室利用がさらに増えるように図書委員による取組や新刊図書の購入、図書室の掲示を工夫しながら図書室利用を充実させていきたい。

学力向上の面では、引き続き、新聞記事のワークシートを毎週1回取組、学年に応じた要約ができるようにしていく。

また、図書館ボランティアや「こづえの会」（読み聞かせボランティア）の方にも読み聞かせをしていただきながら本好きな児童を育てていきたい。